

「安永九年（1780）「青面金剛」文字庚申塔」の調査・報告 （埼玉県越谷市内・某所）

※「掲載画像」の「改編」及び所有者様のご許可無しでの「無断転載」禁止！

NP0 法人越谷市郷土研究会 秦野 秀明

一・先行研究

①越谷市史編さん室編（1969）『越谷市金石資料集』越谷市史編さん室

②加藤 幸一氏の「石仏悉皆調査」

のいずれの出典においても

「未調査・未記載」

二・経過

令和7年6月27日（金）：秦野 秀明による確認（所有者様へご報告）

同年9月11日（木）：秦野 秀明による調査（所有者様のご承諾を頂き、お立ち会いも頂く）

同年9月13日（土）：秦野 秀明による「調査・報告書」（本書）の完成

※ この「石塔（庚申塔）」は、約50年前の家屋の新築に伴い、現在地へ約15m移転（所有者様の証言）

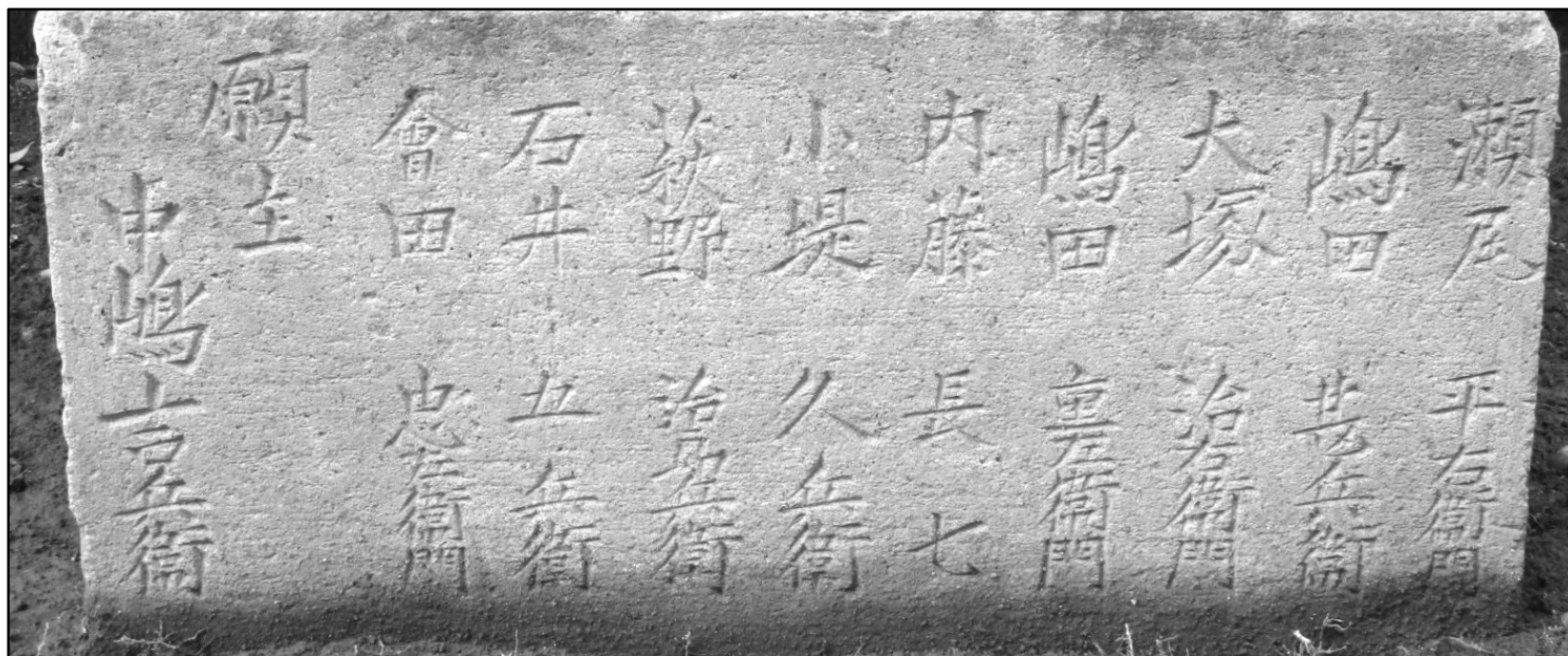




「三猿」（上の「台石」）
「奉納者（願主を含む）名」（下の「台石」）

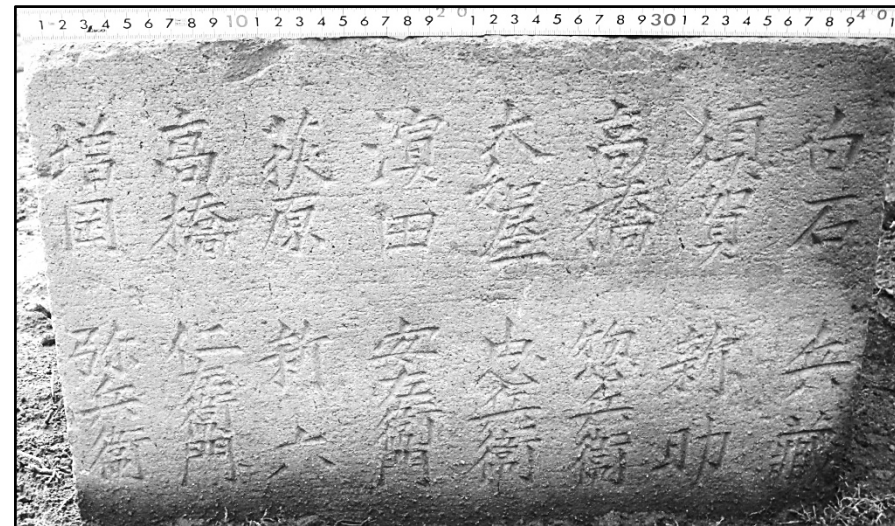


「三猿」
「聞かザル」・「言わザル」・「見ザル」
（向かって左・中央・向かって右）
（上の「台石」）



↑正面：「奉納者（願主 1 名を含む）10 名」（下の「台石」）

↓向かって左側面：「奉納者 3 名」（下の「台石」）／向かって右側面：「奉納者 8 名」（下の「台石」）↓



「石塔（庚申塔）」（角柱型）の構造

●最上部

「塔身」

高さ：665mm・幅 300mm・奥行き 300mm

●最上部の下部（最下部の上部）

上の「台石」

高さ：225mm・幅 420mm・奥行き 420mm

●最下部

下の「台石」

高さ：230mm・幅 570mm・奥行き 430mm

※「石塔（庚申塔）」の「正面」は「東北東向き」



向かって左側面
(塔身) ↓

正面
(塔身) ↓

向かって右側面
(塔身) ↓

銘文及び
奉納者(願主を含む)名

(銘文なし)

(篆書)

青面金剛

九月吉日

(一七八〇)

安永九庚子年

遠藤仁兵衛
宮田長右衛門
清治

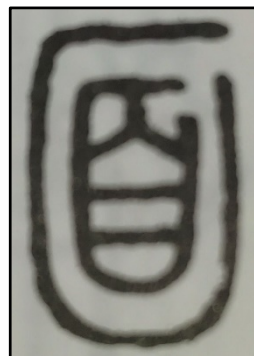
願主
中嶋
吉兵衛
曾田
忠左衛門
石井
五兵衛
萩野
治郎兵衛
小堤
久兵衛
内藤
長七
嶋田
重左衛門
大塚
治右衛門
嶋田
甚兵衛
瀬尾
平右衛門

白石兵藏
須賀新助
高橋惣兵衛
大和屋忠兵衛
濱田安左衛門
萩原新六
高橋仁左衛門
増岡弥兵衛

向かって左側面
(下の台石) ↑

正面(前面)
(下の台石) ↑

向かって右側面
(下の台石) ↑



注

出典 (①②③④)

汪仁壽 (一九九一) 『金石大辞典』 マール社
より引用

出典 (「青」「面」「金」「剛」)

① 「青」: 『齊臨淮王像碑』 「篆額石索臨本」 p. 1850

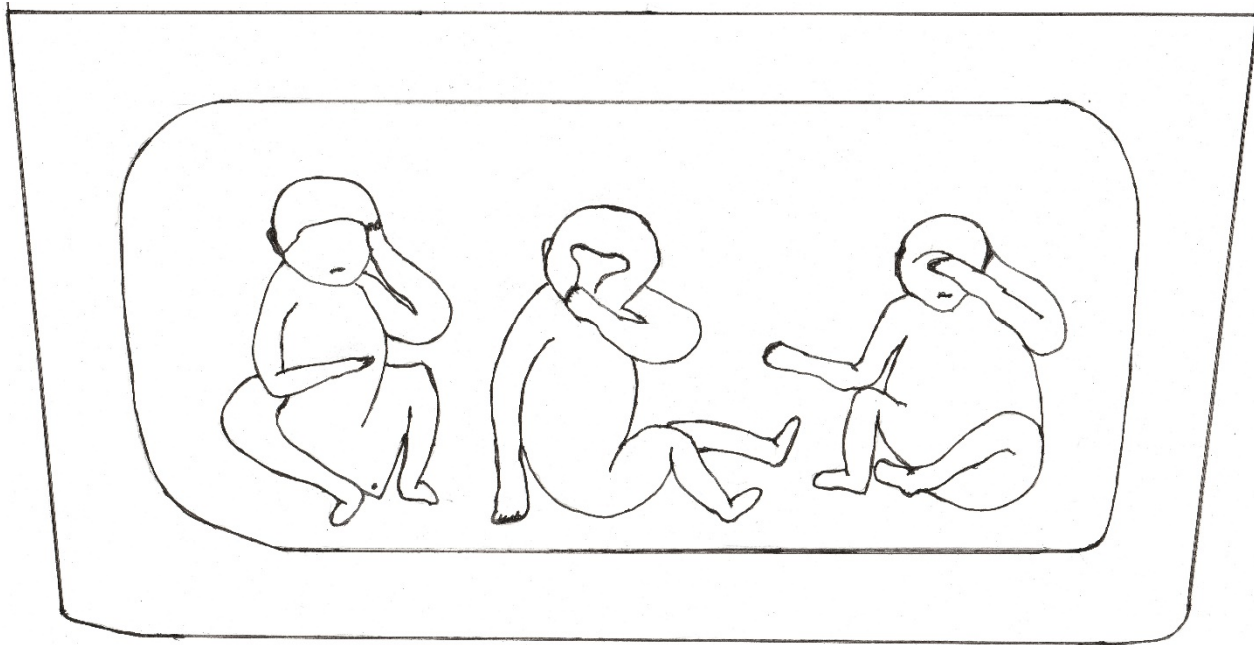
② 「面」: 『説文解字篆韵譜』 p. 1853

③ 「金」: 『老子』 p. 1743

「金」: 『黄金鼎印』 p. 1746

④ 「剛」: 『仲子化盤筠清』 p. 202

「篆書」の調査に当たり、「中嶋書道教室」の中嶋 弘明氏に「出典」のご提示をはじめ、多大なるご教示を頂きました。感謝を申し上げます。



「安永九年（1780）「青面金剛」文字庚申塔」 （埼玉県越谷市内・某所）」

※「掲載画像」の「改編」及び所有者様のご許可無しでの
「無断転載」禁止！

※所有者様の多大なるご協力の上で、この「調査・報告」を
完成させることが出来ました。感謝を申し上げます。

NPO 法人越谷市郷土研究会 秦野 秀明

